

---

第 26 報 平成 31 年 2 月 19 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

---

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成 31 年 2 月 15 日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

## 【生コンクリート】

### （熊本地区）

熊本地区の1月の出荷量は6万1,661m<sup>3</sup>と前年同月比4.5%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。今後も、熊本駅前の再開発等大型民需も控えており、需要は堅調に推移する見通し。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。熊本地区生コン協組では、原材料費の上昇・運搬コストの高騰を背景として、昨年度来の値上げ打ち出し額1,000円の満額確保を目指し売り腰を強め、需要家側と交渉を継続している。目先、横ばい推移の見通し。

### （阿蘇地区）

阿蘇地区の1月の出荷量は2万6,722m<sup>3</sup>と前年同月比51%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事向け等の大型物件向けへの出荷が当面は続く見込みで、今後も、需要は堅調に推移する見通し。それに伴いアジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【コンクリート用碎石】

### （熊本地区・阿蘇地区）

震災復興関連工事、交通センター等の跡地再開発工事等で生コン出荷は増加しており、原材料の骨材需要も旺盛なものとなっている。供給側は増加する需要に対応するため設備更新を行う等、安定供給体制の維持に努めているが、各社ともフル生産の状況が続いており、需給はややひっ迫している。

価格は20～5mmが熊本地区でm<sup>3</sup>当たり3,400円。阿蘇地区でm<sup>3</sup>当たり3,900円どころ。熊本地区碎石共販協同組合では、強固な共販体制を背景に、現行価格維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【アスファルト混合物】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の12月の製造数量は8万3,392tと前年同月比約24%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。熊本市中心部の需要は低迷している。年度末にかけて需要期を迎えているが、荷動きは精彩を欠いている。一方、益城、御船、阿蘇地区は震災復興道路工事を中心に需要は堅調に推移している。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区でt当たり11,000円どころ、阿蘇地区でt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。主原材料であるスト・アス価格が上昇しており、供給側はコストアップ分を製品価格に転嫁したい意向を示している。ただ、中心部の需要は盛り上がりを見せており、需要者側の購買姿勢は依然厳しく、現行価格の維持が精いっぱい状況。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成31年2月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 碎石 20～5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40～0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [324]	熊本	2018年 5月号	200円下落	t	11,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成31年2月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格はSD295A・D16でt当たり7万2,000円どころと前月比横ばい。復興工事や民需により、需要は堅調に推移している。一方、主原材料である鉄屑価格の下落を受け、販売側の売り腰は軟化している。今後、需要者側の値引き要求は強まるとの見方が強く、先行き、弱含み。	均衡	均衡	弱含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は、無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,390円と前月比横ばい。これまで産地側の原木不足による製品の高値感を反映する格好で、流通筋も仕入れコスト上昇分を転嫁するべく売り腰を強めていたが、ここに来て、荷動きに落ち着きが見られる。需要面では、引き続き駅前再開発工事などへの出荷が見込まれるが、価格は目先、現行水準を横ばいで推移。	均衡	均衡	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

# 【主要資材の価格推移】





